ウムチョ ムゥイーザ通信

No. 28

ルワンダ語で「良い文化学園」の意味を表します。



みなさまこのたびはいままで歴史にない大地震、津波それから福島原 発の三つの災害に遭われて大変でした。この災害によって命を落とし てしまったみなさまのご冥福を心からお祈りしております。

今回の災害に生き残ったみなさまがたには心からお見舞い申し上げます。今は複雑な気持ちだと思います、時には言葉にならないくらいつらい気持ちになっていたりしていると思います。私達残された命に

は必ず役割があります。その役割を見失わないようにしていきましょう。

いままで築き上げたものや家族や友達や全てを失ってしまったかもしれません。悲しくて、つらくてどうしていいのかがわからないと思います。そんな時には一番大切なものである命だけはまちがいなく持っています。生きていれば必ずいい日が来ると共に信じていきましょう。

地震の日、3月11日(金)は私は福島市にあるコラッセ福島という建物の中にいて確定申告のためにいっていました。パソコンで確定申告を手伝ってくれる人のところへついた瞬間揺れがはじまってしまいました。恐ろしくて長くてなかなか揺れがおさまらなくて。電気が止まって、暗い中物が落ちてきました。幸いなことに揺れがおさまって階段から避難するように誘導されました。無事外へ出ることが出来ました、それでも揺れはおさまりませんでした。すると知り合いの人が「大丈夫ですよ」と元気づけてくれました。子ども達に電話をかけても電話が通じなくてとても心配でした。その知り合いは私が歩いてきたと分かると「家まで送るよ」と言ってくれました。そして家に着くとすべてのものがひくりかえっていました。次女だけが家に帰ってきていました。

揺れがあまりにひどかったので、幸いなことには前の日に車のガソリンを満タンにしたばかりの車の中に避難しました。広い駐車場に車を止めて娘2人と一晩車の中で過ごしました。水が無くて、電気が止まって、揺れが続いている中誰とも連絡がとれなくて大変でした。朝が来た時は本当に嬉しかったです。

世界とつながっている事を改めてまた確認できました。パリの修道院にいるシスターの妹からの電話がつながりました。ニュースで日本の様子を見ているから心配ですが心を一つにして祈っていますからと元気づけてくれました。

そして水探しに行き、3本だけミネラルウォーターを買う事が出来ました。その後会員の家ではまだ水が出ていましたので分けていただきました。本当に助かりました。その後は全域断水なので給水車から水をもらいました。二日後には電気が戻ってきました。一週間後には水も戻ってきました。安心していたら今度は福島第一原子力発電所から福島市まで直線で60km以上は離れていますが、放射能の心配をしながら生きています。

皆さん私はルワンダの内戦を17年前に体験しました。そのときはすべてをなくしました。 その後は難民生活を送りました。そのときのことを思い出しながらこんな事を考えます。生き ていてよかったなと思います。世界のみんなは私たちとつながっています、日本のみんなとつ ながっています、世界中のみんなとつながっています。この状況は私達にとって学びの場所だ と思います。

耳を澄まして、目を開いて、心を一つにして必ずよくなることを信じていきま しょう。

生きていれば必ずいい日が来るその日を見るのに生きなければならないね! 楽しみにしてその日を一緒に待っていましょうね。

2011年3月27日

「ADESOC」報告 ウムチョムィーザ学園 2011.2.1 チャールズ校長より

〔ルワンダの教育を考える会の皆様へ〕

みなさん一人一人に感謝したいと思います。

2011年度の新年度の様子をお伝えします。

1月10日より1学期がスタートしました。子ども達を託し てくれた保護者に感謝を、私達に信頼を持って幼稚園から小学 校まで大切な子ども達を預けてくれたことに感謝します。

親に信頼される学校運営そして子ども達の人間的な成長と働 くことの大切さを伝えてゆきます。



毎日の時間割、1週間分の時間割を1学期分そして子ども達のために準備した本を親に紹 介することが出来ました。積極的に先生方が毎日毎日子ども達に伝えてそれが子ども達の将 来の成功につながることを期待します。

集まってきた幼稚園の子ども達が昨年まで教えてくれていた「青年海外協力隊の麻子さん は、どこですか?」と強く質問しました。麻子さんの後任が3月に来てくれること伝えまし たら、子ども達は喜びました。麻子さんの明るく愛情深い幼児教育はきっと子ども達の人間 形成の土台になったと思います。感謝の気持ちでいっぱいです。

初日は180名の子ども達が集まってくれました。人数をみれば少ないかもしれませんが、 大切なことは、1年間共に歩んでいくという信頼感が指導者としては1番喜ばしいことでし た。ルワンダの社会に役立つ質の良い教育をめざしていきたいと思います。

それから、最後に日本から贈っていただいた3台のピアノを調律に来てくださることと、 さらに、ルワンダで初めてのピアノコンサートを開催出来ることを子ども達に伝えました。 学園中みんなとても楽しみにしています。それから、みんなにとって良い年であること、礼 儀を守り勉強に励む愛される一人ひとりになることを願いました。

そして、国から示されたカリキュラムとしては、1学期は1月10日~4月1日、2学期 は4月25日~7月29日、3学期は8月22日~10月28日で、中学校入学国家試験は 10月31日~11月11日の予定です。そして、これからの課題としてあげられたのは、 幼稚園から小学3年生までは、ルワンダ語で勉強するかもしれません。4年生から6年生ま



では今までと同じく英語で勉強します。

ルワンダは相変わらず変化していく と思います。私たちは楽ではありませ んが、一生懸命力を合わせて頑張って いきたいと思います。

皆様の支援をいただきながらも、私 たちも自立に向かって努力し続けてい きたいと思います。心から感謝します。 ありがとうございます。

ウムチョムィーザ学園の

2010年度(3学期)の学費の納入状況の報告

2010.11.1

単位:人 * 時価換算による。単位:円

納入		幼稚園				小草	学校			合計	金額
状況	年少	年中	年長	1年	2年	3年	4年	5年	6年		並領
補習料							17	25	22	64 人	44,644
100%	6	10	15	11	15	13	18	25	26	139 人	872,650
その他	4	3	3	0	8	3	5	4	5	35 人	114,233
0%	6	5	9	5	5	7	12	9	10	68 人	0
合 計	16	18	27	16	28	23	35	38	41	242 人	1,031,527
▶ ② 予定額 →									1,571,608		
				不足	金額						540,081

2010年度1学期~3学期の会計報告

2010.12.21

[収入]

〔支出〕

3 5 77 75		75 71 15	
項目	金額	項 目	金額
学費	3,258,303	職員への給料	3,838,098
日本(考える会)からの支援	3,354,758	光熱費	453,185
入学登録料	18,512	通信費	229,609
バス運行収入	0	印刷•消耗品	346,714
水販売収入	24,396	車の維持費	144,271
家畜・野菜の収入	7,059	会議・研修費	291,394
コピー・印刷の収入	79,186	維持費	215,258
「ADESOC」の会費	143,505	その他のサービス	239,748
個人からの寄付	0	備品·設備·多目的室修繕	866,114
未払い学費の納入金	944,394	慶弔費	109,925
銀行預金額	49,893	借金返済	312,149
		税金	333,901
合計	7,880,006	合計	7,380,366
	499 640		





ルワンダの状況について(ルイズから)2月8日~2月13日ルワンダ訪問

- ・ 公立学校の建設が進み子ども達が流れていますが、授業がスムーズに進んでいないこともあって、小学校から中学校への進学が困難になっています。(隣の公立小学校では、児童の人数に対して教室や先生の数が足りないため、習熟度が低く150人卒業しても中学校への進学が5人という状況)当学園は幸いにも3年連続全員合格しています。近隣の進学できなかった子ども達に対して何が出来るかを考える必要があるともに準備する必要があると感じてきました。
- · 差別(区別)のない学風が親達に評価されているようです。
- ・ 考える会のコンサートの益金で床を整備した多目的室に椅子(120脚) を購入し、それらは、内外の会議などでも使われているため大活躍
- ・ バスも修理し利用されているので収入も見込める状態
- ・ 校庭には芝生を植え、また、アボガドの木を今回植樹して きました。



ウムチョムィーザ学園に2003年~2005年に福島県や広島県内の小学校や諸団体からの寄付により、ピアノ3台・リコーダー50本、鍵盤ハーモニカ20台が贈られています。その後、青年海外

協力隊の幼稚園教師が子ども達に情操教育の一つとし楽しさを指導してくださいました。

て音楽の

今回不要なピアノを修理して発展途上国などに贈る活いる広島市のピアノ調律師の矢川光則さんと友人であのジャズピアニストの好井一條さんがルイズの渡航費

動を香でに奏し川貴らを



で負担し、2005年に当学れた3台のピアノを調律し 開いてくださいました。

さらに、JICAの支援により当会会員斎藤照子・斎藤直孝が学園の子ども達に個人レッスンをして学園の児童が音楽や楽器に対してさらに 興味を深めるきっかけを作ることが出来ました。

「ルワンダの児童のための音楽教室活動」報告

会員 斎藤照子



今回、JICAから、海外市民参加プロジェクトの活動支援を受けて、2月8日から13日まで、「ウムチョムイーザ学園」にて、歌とピアノの指導をして参りました。

2002年夏、初めて学園を訪問した時、学園はお休みで広い校庭で子ども達が遊んでおりました。まだ、4教室しかなくて、教室に入ったら子ども達も入ってきて「日本の歌を歌って」というので「チューリップの歌」を歌ったら、歌詞もメロディ―も正しく歌うの

で、とても驚きました。

その時から、子ども達の音楽に対する感性の素晴 じ、いつか、子ども達の心に眠っている宝箱のふた あげたいと思っておりました。

今回、その願いをついに実現することができました。 8日、学園を訪問した時、教室から「オハヨウ、オンセイオハヨウ、ミナサンオハヨウ・・・」の日本の歌てきて、私たちを迎えてくれました。

らしさを感 を開けて

ハヨウ、セ が聞こえ

音楽指導は、幼稚園年長クラスと1年生クラスで行いました。五線紙も音符も知らない子ども達に教えるには、自分が歌い、ピアノを弾いて真似してもらうことから始めました。

ドミソの和音ができるよう、大きな声で歌い、身ぶり手ぶり、全身で伝えました。子ども達も元気いっぱい 声を出して、最後に和音が響いた時、子ども達も私も手をたたいて喜びました。

ピアノは、5本の指をピアノの鍵盤にどんなふうに置いたらよいのか、私の手の形を見てもらうことからはじめました。子ども達にとって何もかも初めてのこと。それでも、楽しく元気いっぱい応えてくれたことに、大

きな喜びを感じました。

来年夏には、ルワンダへ移住して、心の中にある宝箱のふたを全開して、いつの日か「ウムチョムイーザ合唱団」を創って、世界共通語とも言える音楽の楽しさを共有しようとの想いを胸に帰国しました。

TT-

作詞 大河原伸 曲 バッハ (G線上のアリア)

1. アマニ 大人になったらあなたは何になりたいの? なにげなく聞いた私をじっと暗い瞳で見つめた ねえ教えて下さい 誰も皆 幸せな大人になれるの? 私それまで生きていられるのかな・・・・ ママもパパもお兄ちゃんも殺され 私と妹の二人が残されたけど いつかまた恐い人が殺しに来るんでしょう・・・

ルイズさんの話を聞いて今回作ってみました。

2. アマニ もう大丈夫 私がそばにいてあげる あなたもあなたの妹も もう殺されることはないの このルワンダの地に 平和がおとずれたのよ 恐い人達は 遠く逃げたり牢屋に入れられたわ 私決めたわ あなたが学べる 平和になるための学校を ここに造るわ アマニ あなたにきっと笑顔 もどりますように



私に翼があったら

作詞 作曲 大河原伸

- 1. 私に翼があったら この空を飛んでいくつもの丘を越えて キガリに帰りたい 難民キャンプの夜は 哀しみに包まれ 声なき怒りは空へ 暗闇を広げる なにげないあの毎日が 今はとてもなつかしい あなたと子ども達の笑顔 できるならもう一度
- 3. 私に翼があったら この空を飛んで 悲惨なキャンプの日々を 世界に伝えたい 小さなルワンダの国で 100万も殺され 200万もの人が 難民になった 明日生きられる保証もなく 今ある命見つめる それでも この子達のために 私は生きてゆく

私に翼があったら この空を飛んで 自由と平和の種を この国に蒔きたい



N725DAY in SKLE

ルワンダフルコンサー人

夏のコンサート 7月18日(月・海の日)開催予定 福島市A・O・Z(アオウゼ)

ヒマラヤの山並みを渡る風をイメージした、ネパールの竹笛の音色をお届けします。

お知らせ

2011年3月11日の東日本大震 災津波原発事故により、当会事務所機能 や講演活動が停滞しておりますことを ご理解のうえ、さらなるご支援をお願い したいと思います。

今後の予定

4月例会-4月16日(土) 13:30~ 福島市働く婦人の家 総会-5月21日(土)予定

A CARLES DESIDES ! A

会費振込·寄付·募金

郵便振替口座: 02290-0-97126

加入者名:NPO法人 ルワンダの教育を考える会

ホームページ からの募金も 受付中です

<u>ソーラー発電</u>…ソーラー発電機を増やし、電力の確保をしたいと考えています。

郵便振替口座:02200-2-77634

加入者名:ルワンダ ソーラー発電P

iz Chag.

事務局では、事務局スタッフ及び各種イベント開催時、お手伝いくださる 方を随時募集しています。(夏のコンサートに向けてボランティアスタッ フを大募集中!一緒に楽しみませんか。連絡をお待ちしています。)

一編集後記一

地震・津波・原発事故により、明日が見えない日々が続いていますが、それでも桜のつぼみは確実に春を感じているようです。ライフラインのありがたさをつくづく感じました。

生きていることに感謝したいと思います。

NPO法人ルワンダの教育を考える



理事長 カンヘ・ンカ・マリールイス・

〒960-8055

福島県福島市野田町四丁目 8-20

TEL/FAX:024-533-8289

ホームページ:<u>http://www.rwanda-npo.org</u>

e - m a i l :info@rwanda-npo.org